



各 位

平成 16 年 11 月 12 日

会 社 名 日本ラッド株式会社
代表者名 代表取締役社長 小中政義
(登録銘柄 コード番号 4736)
問合せ先 執行役員
管理本部長 北澤章一
(TEL . 03 - 3235 - 0131)

特別損失の計上及び固定資産減損会計の早期適用並びに業績予想の修正について

当社は、平成 16 年 11 月 12 日開催の取締役会において、当社及び当社グループの保有する資産の状況を査定し、資産価値の低下したものについて特別損失として処理するとともに「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することを決定いたしました。これに伴い、平成 17 年 3 月期中間期・通期（連結・単独）業績予想を、下記のとおり修正いたします。

1. 特別損失の計上及びその内容

投資有価証券評価損の計上 連結 9 百万円 単独 1 億 41 百万円
資産価値の低下した子会社及び関係会社等に対する投資有価証券の評価額の見直しを行い、評価損を特別損失に計上します。
貸倒引当金の計上 連結 20 百万円 単独 20 百万円
取引先に対する長期滞留債権について、短期的には回収困難と厳しく評価し、貸倒引当金を特別損失に計上します。
特許権及びソフトウェアの償却 連結 26 百万円 単独
子会社が所有する特許権及び特許に基づくソフトウェアの資産性について、短期的に収益に貢献することが見込めないと判断し、これを償却し特別損失に計上します。

2. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用について

財務諸表の透明性を高め、より一層の財務体質の健全化を図るため、「固定資産の減損に係る会計基準」について平成 17 年 3 月期中間決算より早期適用することとし、賃貸用資産及び遊休資産について連結・単独ともに 2 億 16 百万円の減損処理を行います。

3. 業績予想の修正

(1) 中間期 連結 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A) (平成 16 年 5 月 24 日発表)	1,840	0	20
今回修正 (B)	1,995	25	352
増減額 (B - A)	155	25	332
増減率 (%)	8.4		
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	1,551	86	79

(2) 中間期 単独 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A) (平成 16 年 5 月 24 日発表)	1,660	20	30
今回修正 (B)	1,718	35	420
増減額 (B - A)	58	15	390
増減率 (%)	3.5		
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	1,524	45	41

(3) 中間業績予想の修正理由

当中間期の単独売上につきましては、業務アプリケーション系開発を中心に売上を伸ばし、特にメーカー向け、運輸業向け及び公共関連向けのソフトウェア受託開発が伸びた他、前期に引き続きプロダクツ販売が好調に推移しました。連結売上は、新たに連結対象となったインサイトインターナショナル株式会社の売上が好調だった他、子会社の直販が増加したことにより予想を上回りました。

経常利益につきましては、粗利率の低下と研究開発費や貸倒引当金積立額の増加などにより、予想を若干下回りました。

中間純利益につきましては、前述の特別損失の計上と「固定資産の減損に係る会計基準」を今中間期より早期適用することと致しました。加えて繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、当期純利益は、連結 3 億 52 百万円、単独 4 億 20 百万円、の損失となる見込みです。

(4) 通期 連結 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成 16 年 5 月 24 日発表)	4,250	220	70
今回修正 (B)	4,500	110	300
増減額 (B - A)	250	110	370
増減率 (%)	5.9		
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	3,964	87	13

(5) 通期 単独 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成 16 年 5 月 24 日発表)	3,900	195	58
今回修正 (B)	3,950	70	400
増減額 (B - A)	50	125	458
増減率 (%)	1.3		
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	3,795	109	8

(6) 修正理由

通期業績見直しにつきましては、当中間期の修正を踏まえ、上表の通り修正いたします

下期の売上高につきましては、上期同様好調に推移すると見ておりますが、受注単価の低下傾向や研究開発投資の増加から下期の経常利益を見直しました。更に下期には東京都内に分散している本社、事業所及び関連会社のオフィス統合を行う計画であり(この件は取締役会決議があり次第発表の予定)、移転費用の見込み額 50 百万円を特別

損失として計上するとともに投資有価証券評価損の見込み額30百万円を計上しております。

この処理により、次期以降の業績に特別な影響を与えるものが無くなり、身軽で健全な経営体質で経営に臨むことが出来ると考えております。

(7) 当期の配当について

期末配当につきましては、安定的な配当の維持継続に留意し当初の予定通り、5円配当を実施する予定であります。

(業績予想に関する留意事項)

本資料に記載しております業績に関する予想数値は、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご了解ください。

以 上